

マークシートの選択肢の数による正答率の変動

21611030 石川 将基

目的

プレッシャーあり、なし、3択、4択でのマークシートの正答率の変化を調べる

方法

数学の問題 14 問と好きな回答欄を選んでもらう問題 1 問の計 15 問をプレッシャー有り無し
の状態
で学生にといてもらう。時間は 10 分で行う。

結果

プレッシャーありの方がなしの時より正答率が上がった。

好きに回答欄を選んでもらう問題では、2 番が最も選ばれた。

	プレッシャー	
	あり	なし
3択	86.30%	78.40%
4択	83.10%	77.60%